

# 佐藤允彦

piano

# 加藤真一

contrabass

2019 02月17日(日)

開場 14:30

開演 15:00~

(2ステージ入替なし 途中入場可) (1drink=600円~)

MC 3500 円+2drinks order

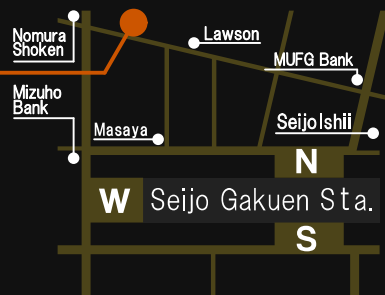
CAFE **BEULMANS**

03-3484-0047

info.cafebeulmans@gmail.com

東京都世田谷区成城6-16-5-2F

メールでのご予約の場合、  
必ず当日ご連絡がとれる電話番号を  
ご記載ください。



## 佐藤允彦

1941年東京生まれ。慶応義塾大学卒業後、1966年から1968年にかけて米国パークリー音楽院に留学、作・編曲を学ぶ。帰国後、1969年に初のリーダー・アルバム『パラジウム』でスイングジャーナル誌「日本ジャズ賞」受賞。その後も、ビッグ・バンドのための作品『四つのジャズコンポジション』(1970年)、『邪馬台賦』(1972年)で二度の芸術祭優秀賞を受賞する。これまでに数多くのリーダー・アルバムを発表しており、スティーヴ・ガッド(Ds)、エディ・ゴメス(B)のトリオでレコーディングした『アモフィズム』の全米発売や、「セレクト・ライブ・アンダー・ザ・スカイ '90」で誕生した『ランドゥーガ』(スイングジャーナル誌「日本ジャズ賞」受賞)のフランスでのリリースなど、国際的にも高い評価を得ている。作・編曲家としては、ナンシー・ウィルソン、アート・ファーマー、ヘレン・メリル、中川昌三、伊藤君子をはじめとする様々なアーティストのレコーディングへの参加や、『オーケストラと三人のインプロヴァイザーのための「乱紋」』(1986年)、『WAVE IIIとオーケストラのためのコンチェルト』(1988年)などの実験的作品、「万国博覧会~地方自治体館」(1970年)、「花と緑の博覧会~JT館」(1990年)などのパピリオン音楽などを手掛けている。さらに、音楽を担当したテレビ番組、映画、CMは数え切れないほどである。1997年には自己のプロデュース・レーベル〈BAJ Records〉を創設。ピアノ・ソロ・シリーズやバッハをモチーフにした佐藤允彦トリオ『巴翁戯楽』を発売するなど、その活躍はますます多面化するばかりである。



## 加藤真一

北海道出身。1985年猪俣猛トリオに抜擢され上京。大友義雄、遠藤律子、中村誠一、土岐英史、辛島文雄、向井滋春、スガダイロー、井上ゆかり、森山威男、秋山一将、川嶋哲郎等のグループに参加。2002年、富樫雅彦(JJ Spirits)参加。佐藤允彦とTijo CABEZA結成。2005年佐藤允彦(saifa)にてメルス、ノースシージャズフェスティバル出演。現在は佐藤允彦、前田憲男、市川秀男、嶋津健一とのトリオや自己のバンド(B-HOT CREATIONS)を率いる。リーダー作は15枚。最新作は清水絵理子とのデュオ。【Double Axes】美しい音色と繊細さ、重厚なリズム。ジャンルを超えた多様な演奏スタイルは今や日本の音楽界に欠くことのできない存在。